

1 旧役場跡…

役場は明治41年（1908）石浜の平林公園から、今の知多信用金庫駐車場の所に移りました。そして、昭和43年6月1日現在の緒川字政所に移転しました。

2 高菰城跡…

緒川城の図には4つの曲輪が描かれており、主曲輪と北の曲輪群は家臣の屋敷地で、その一角は分長の時代に居城とされ「高菰城」と呼ばれました。

3 水野貞守館跡…

初代緒川城主の貞守の館が重右山にあったと言われています。

4 青木屋敷跡…

於大の方の母「お富」が暮らしたと伝えられています。そうであれば、於大の方は緒川城内というよりこの青木屋敷で生まれたのでは…

5 緒川城主三代の墓所…

緒川城を見下ろす高台に、初代城主水野貞守、二代水野賢正、三代水野清忠のお墓があります。



6 東浦街道（旧道・弘法道）

7 弘法宿…

緒川には北から十六屋、林家、信濃屋の3軒がありました。

8 お不動さん…

木曾御嶽本教不動教会総本部といえます。大正14年（1925）創立。

9 緒川勝五郎の墓…

旧八幡社下に清水次郎長の子分緒川勝五郎の住居があって、次郎長が訪問したと言われています。

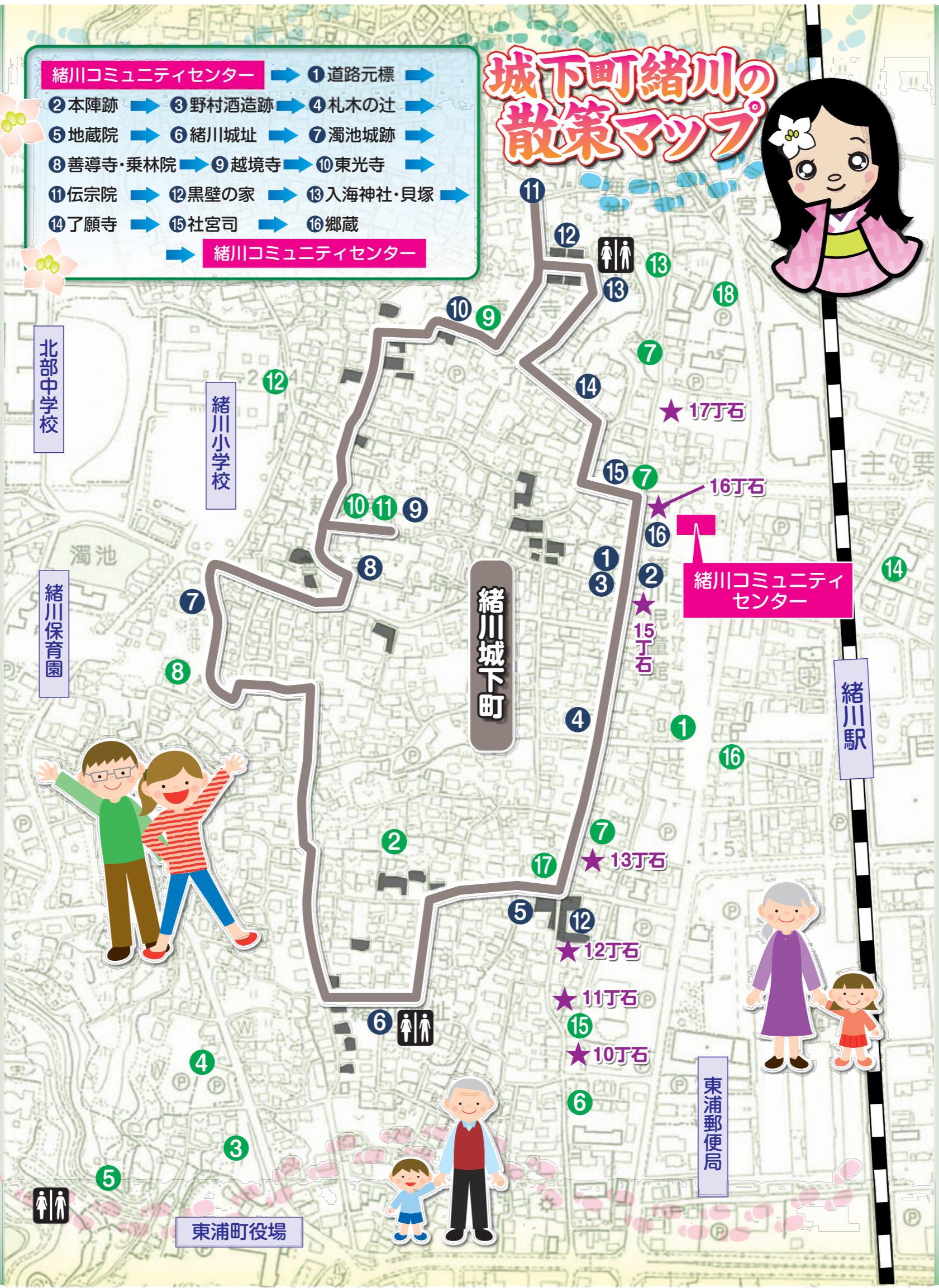


10 緒川城家老家の墓…

竹内文左衛門家の墓が越境寺にあります、今は村瀬と苗字が変わり25代目です。

11 刈谷城家老家の墓…

刈谷城家老の沢田仁右衛門家（本陣）の墓が越境寺にあります。



城下町緒川の散策マップ



12 旧八幡社跡…

水野氏の氏神として初代緒川城主の水野貞守が創建。今の緒川小学校敷地の北側にありました。昭和42年入海神社に合祀されました。

13 中川南巖の碑…

大正時代の有名な書道家で、知多・西三河の石碑などに名が残されています。大正7年に銅像が建てられましたが、戦争で供出されてしまいました。

14 緒川の入江跡…

安永5年（1776）～8年に申新田と北新田が開発され、二つの新田の間に舟の出入りの便を図るため入江を建設。そして、酒などを江戸へ送り出していました。武豊線開通後は高浜の土管や瓦をここで陸揚げし、列車で各地へ搬出しました。明治19年武豊線開通の時に入江の西を埋め立てて線路の東側までに、さらに、昭和28年台風13号の後でほとんど埋め立てたため、今では河口にだけその名残があります。



15 八郎兵衛の常夜灯…

緒川の集落の南のはずれの入り口を示す灯台であり、火の用心のためのお守りでもありました。日清戦争の勝利を記念して明治28年に建てられました。



16 和菓子「松華園」…

入海貝塚にちなんだ「以里見もなか」「おもだか」が知られています。

17 和菓子「大黒屋」…

創業は文化元年（1804）で216年の歴史があります「酒元饅頭」「於大羊羹」が知られています。

18 食事処「都やこ」

★丁石…

知多四国88ヶ所霊場へ参詣者を導く弘法道しるべ。1丁（約109m）ごとに立っており、9番明徳寺までの17丁、16丁、15丁、13丁、12丁、11丁、10丁の丁石が残っています。